

# 木耐協 技術通信

2005年  
11月号

技術的なご質問・ご相談などは・・・

●組合員専用ホームページ「安齋先生への質問コーナー」よりお気軽にお問い合わせ下さい

●直接お電話でのご相談の場合は、木耐協事務局まで。  
毎週金曜日10:00～17:00 TEL:048-224-8316

監修：日本木造住宅耐震補強事業者協同組合 技術顧問 安齋正弘 TEL：03-5510-5551 FAX：03-5510-5552



四季の移ろいは確実にやってきて、朝晩はめっきり肌寒くなって参りましたが皆さんお変わりはありませんか？小生は長いこと鼻風邪で今だに悩んでいます。（お気をつけください。）

さて今月は、日頃皆様から事務局にお送りいただいている「現地調査票」の記入方法について取り上げます。

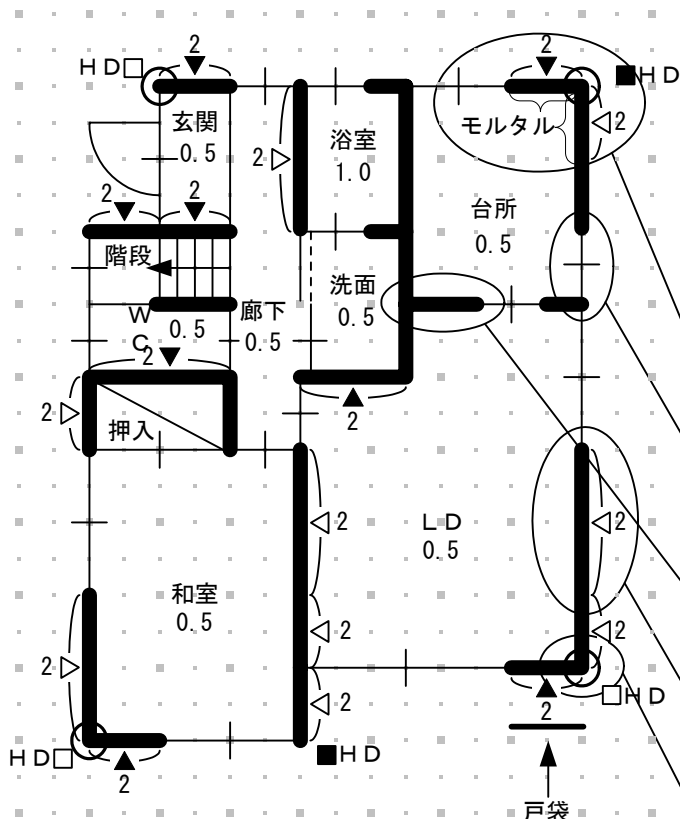
\*\*\*\*\*

事務局には現在、9月に受付けた耐震診断の「現地調査票」が順次届いており、事務局員が「診断結果報告書」の作成にミスのないよう注意を払いながら日々取り組んでいます。しかし、現地調査票の中には、記入不備・記入の仕方不明な点などがある場合も多く、皆様へ直接確認をしてから作成しているため、期日通りお出しできない場合もあるようです。

記入の仕方によっては組合員と事務局員との間で認識のずれが生じ、「診断結果報告書」の内容も変わってしまうことがあります。また、「現地調査票」はFAXでやりとりするため、項目チェック・図面・文字等は濃く、はっきりと記入したいものです。誤認の恐れがあるので、必要以上の情報は記載しないようにしましょう。調査項目にチェックがあるかを、送る前に一度確認することで、記入不備なども防げるでしょう。

我々組合員は、確かな『耐震診断』を一般のエンドユーザーに提供していかなければいけません。そのために、「丁寧な現地調査」「名確な現地調査票」「正確な結果報告」を心掛けたいものです。

## ■ 現地調査票の記入方法



※ 「筋交い」が不明の場合は、「材質のみの算定」か「見なし筋交いでの算定」か備考欄にご記入ください。（「見なし筋交い算定」では、外周部を外壁+1倍、内壁を全て1倍と見なします。）

※ 主たる内壁材・外壁材のチェックは1つのみをお願い致します。（複数の仕上げが現場で確認された場合においては、図面に直接、仕上げ方法・壁倍率・外壁に関しては仕上げの範囲、をご記入下さい。）

複数の材質を使用している場合は、仕上げの範囲をご記入ください。

サッシ・ドア・引き戸等の開口部表示をしてください。

引戸でも両面とも倍率算入の場合には、点線を書かないでください。

筋交いは、必ず範囲を示してください。

通し柱の位置をご記入ください。